

審議会等の会議録

審議会等名	令和4年度 第1回海老名市介護保険運営協議会 (書面開催)
開催日時 (意見提出期間)	令和4年5月20日から5月27日まで (意見書提出期間)
出席(書面)委員	海老名市介護保険運営協議会 委員14名 高橋(裕一郎)委員、鈴木委員、大熊委員、佐藤委員、三宅委員、宇津木委員、中島委員、安ヶ平委員、梅澤委員、瀧平委員、白石委員、三部委員、高橋(隆行)委員、梶委員
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 <input type="checkbox"/> 非公開
一部非公開・非公開の理由	
議題	(1) 居宅介護支援事業者の指定について (2) 令和3年度地域包括支援センターの活動状況について (3) 第8期介護保険事業計画の進捗状況について (4) 高齢者保健福祉計画策定等委員会への委員推薦について
資料	(1) 居宅介護支援事業者の指定について (2) 令和3年度地域包括支援センターの活動状況について (3) 第8期介護保険事業計画の進捗状況について (4) 高齢者保健福祉計画策定等委員会への委員推薦について
結果	議題については、委員全員により承認された。
主な意見・質問	別紙資料のとおり

居宅介護支援事業者の指定について

居宅介護支援事業者から指定の申請がありましたので、ご協議のほどよろしくお願ひします。

1 居宅介護支援事業者の指定申請内容

(1) 申請者

- ① 名称 株式会社プレツァ
- ② 所在地 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号
丸の内トラストタワー本館20階
- ③ 代表者 代表取締役 相本 忠広 (すぎもと ただひろ)

(2) 事業所の内容

- ① 名称 ライフデザイン ちるる
- ② 所在地 海老名市中野一丁目26番41号 メゾン中野B204号室
- ③ サービス種類 居宅介護支援
- ④ 事業開始予定日 令和4年6月1日

(3) 従業者の内容

従業者の職種・員数	介護支援専門員	
	専 従	管理者と兼務
常勤		1
非常勤		

2 居宅介護支援の人員基準・設備基準等

(1) 人員等に関する基準

海老名市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例施行規則第3条・第4条

下記のとおり基準は満たしている

職 種	資格要件等	配置状況等
管理者	・主任介護支援専門員	・令和2年度主任介護支援専門員研修受講済み。 ・常勤で介護支援専門員と兼務
介護支援専門員	・常勤1名以上	・常勤で管理者と兼務

(2) 設備等に関する基準

海老名市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例施行規則第21条

下記のとおり基準を満たしている。

項目	基準等	設備等の状況
専用区画	・運営を行うために必要な広さを有する	・アパートの1室(3DK)
設備及び備品	・サービス提供に必要な設備及び備品	・電話 ・FAX ・パソコン ・テーブル、椅子 ・鍵付きキャビネット



外観



事務室



備品



相談室

居宅介護支援事業者の指定について

居宅介護支援事業者から指定の申請がありましたので、ご協議のほどよろしく申し上げます。

1 居宅介護支援事業者の指定申請内容

(1) 申請者

- ① 名称 株式会社ケィオエス
- ② 所在地 相模原市南区南台5丁目12番29号
- ③ 代表者 代表取締役 田中 勝広 (たなか かつひろ)

(2) 事業所の内容

- ① 名称 ケアプラン愛
- ② 所在地 海老名市望地二丁目3番27号 ファミリアM-A 1階
- ③ サービス種類 居宅介護支援
- ④ 事業開始予定日 令和4年6月1日

(3) 従業者の内容

従業者の職種・員数	介護支援専門員	
	専 従	管理者と兼務
常勤		1
非常勤		

2 居宅介護支援の人員基準・設備基準等

(1) 人員等に関する基準

海老名市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例施行規則第3条・第4条

下記のとおり基準は満たしている

職 種	資格要件等	配置状況等
管理者	・主任介護支援専門員	・令和2年度主任介護支援専門員研修受講済み。 ・常勤で介護支援専門員と兼務
介護支援専門員	・常勤1名以上	・常勤で管理者と兼務

(2) 設備等に関する基準

海老名市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例施行規則第21条

下記のとおり基準を満たしている。

項目	基準等	設備等の状況
専用区画	・運営を行うために必要な広さを有する	・アパートの1室(1LDK)
設備及び備品	・サービス提供に必要な設備及び備品	・電話 ・FAX ・パソコン ・テーブル、椅子 ・鍵付きキャビネット



外観



事務室



備品 1



備品 2

【資料 2-①号】

令和 3 年度地域包括支援センターの活動状況について（報告事項）

1 地域の高齢者の相談窓口

地域包括支援センターは、地域の相談窓口として、高齢者やその家族など地域に暮らす人たちの悩みや問題に対応しています。市内には 6 箇所の地域包括支援センターと基幹型地域包括支援センターがあります。

包括支援センター	対象地域
海老名東地域包括支援センター 東柏ケ谷 3-5-1 ウェルストーン相模野 102 号 〒243-0401 Tel292-1411	柏ケ谷・東柏ケ谷・望地
海老名北地域包括支援センター 上今泉 4-8-23 えびな北高齢者施設内 〒243-0431 Tel231-6061	上郷・上今泉・下今泉・扇町 泉・めぐみ町
海老名中央地域包括支援センター 河原口 1519 海老名メディカルサポートクリニック内 〒243-0433 Tel234-2973	勝瀬・中央・国分南・国分北
さつき町地域包括支援センター さつき町 4-1 海老名市医療センター内 〒243-0421 Tel234-7226	中新田・さつき町・河原口・ 社家
国分寺台地域包括支援センター 浜田町 25-14 フジビル 1F 〒243-0412 Tel233-8881	大谷・国分寺台・浜田町・ 大谷南・大谷北
海老名南地域包括支援センター 杉久保南 3-31-6 えびな南高齢者施設内 〒243-0427 Tel238-7691	中河内・中野・今里・上河 内・本郷・門沢橋・杉久保南・ 杉久保北
海老名基幹型地域包括支援センター 勝瀬 175-1 海老名市役所内 〒243-0492 Tel233-0111	市内全域

○地域包括支援センターの職員

社会福祉士・保健師・主任介護支援専門員等の 3 職種 4 人の専門職がおり、関係機関と連携を図りながら高齢者やその家族の支援を行っています。

2 地域包括支援センターの業務

地域包括支援センターは、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援するため、①介護予防ケアマネジメント事業 ②総合相談・支援事業 ③権利擁護事業 ④包括的・継続的ケアマネジメント事業の4つの事業を主に地域において一体的に実施する役割を担っています。

事業内容及び相談区分ごとの内容は次のとおりです。

〈事業内容〉

事業	内容
介護予防ケアマネジメント (介護や健康のこと)	要支援者等から依頼を受けて、その心身の状況、置かれている環境やその他の状況に応じたサービス（訪問、通所、その他）が提供されるよう必要な援助を行う事業。 ○ケアプランの作成等
総合相談・支援 (さまざまな相談)	地域の高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続できるように、地域のネットワーク構築、高齢者の心身の状況・生活の実態・必要な支援を把握し相談を受け、サービス等の利用に繋げる事業。
権利擁護	権利侵害を受けている、受ける可能性が高いと思われる高齢者が地域で安心して尊厳のある生活を送ることができるように、権利侵害の予防や対応を行う事業。 ○消費者被害の防止 ○高齢者虐待への対応
包括的・継続的 ケアマネジメント支援	地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、個々の高齢者の状況や変化に応じたケアマネジメントができるよう地域の基盤を整えるとともに、介護支援専門員（ケアマネジャー）への支援を行う事業。 ○困難事例への助言 ○個別相談

〈相談区分別内容〉

相談区分	相談種類	内容
介護に関すること	介護保険サービスの利用	介護保険の利用方法、施設入所の相談等介護サービスに関する相談
	介護保険以外の相談	介護保険以外の公的、民間、ボランティア等サービスに関する相談
	その他の介護に関する相談	サービス利用以外の介護に関する相談
その他	権利擁護	成年後見人制度の利用相談 消費者被害相談
	高齢者虐待	老人福祉施設への措置相談含む
	その他	医療や保健に関する相談

3 地域包括支援センターの活動状況

令和3年度の地域包括支援センター全体での活動実績としては、実利用者数が7,535人（前年度5,599人）、延利用者数が34,555人（前年度24,800人）、延相談件数が51,693人（前年度48,083件）となっています。

相談内訳としては、介護保険やその他サービス等介護に関するものが47,323件（前年度45,134件）、権利擁護関係等その他のものが4,370件（前年度2,949件）となっています。

〈地域包括支援センター相談件数等〉

	区分	件数	
利用実績	実利用者数	7,535	
	延利用者数	34,555	
	①延相談件数	51,693	
①延相談件数 (内容別内訳)	介護に関する こと	介護保険サービスの利用について	37,188
		介護保険外サービス利用について	4,132
		その他介護に関する相談	6,003
	その他	権利擁護（成年後見・消費者被害等） について	530
		高齢者虐待等について	1,090
		その他について	2,750
①延相談件数 (対応別内訳)	面接	2,105	
	訪問	9,111	
	電話	36,678	
	文書	2,085	
	その他	1,714	
要支援ケアプラン作成数		10,103	
居宅介護支援事業所委託数		1,524	

○各地域包括支援センターの地域活動

包括名	内容
<p>海老名東 地域包括支援センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジカフェ（認知症カフェ） 7/4・11/28 ・地域サロンへの参加・講話 （ふれあい茶話会、コミュニティサロン） 【内容】運動、手芸、相談等 ・民生児童委員向け勉強会の主催 ・ランチ会、総会への出席（地区社協） ・どんど焼き参加 ・SCとの情報交換会への参加
<p>海老名北 地域包括支援センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・てらすサロン（公園体操） 毎週 月・金への参加 【内容】公園体操等 ・上今泉地区社協、下今泉地区社協幹事会への出席 【内容】情報交換 ・民児協への参加、勉強会 ・リコーLCA 活動とのコラボレーション 【内容】認知症サポーター養成講座・介護座談会
<p>海老名中央 地域包括支援センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中央サロン、わいがやサロン等の地域サロン、地区社協のランチ会への参加 【内容】情報交換、相談等、 ・民生児童委員向け勉強会の主催 ・スタバと認知症カフェ開催に向けての話合い ・SCとの情報交換 ・医療生協への勉強会
<p>さつき町 地域包括支援センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康ストレッチサークル（社家コミセン）第1・3木曜日（海老名南包括と合同） ・水曜サロン（河原口自治会館）【内容】相談 ・にこにこサロン（さつき町）【内容】情報交換 ・社家自治会館サロン（社家自治会館）【内容】広報活動など ・スマイルサロン（ソンプの家 GH 海老名）【内容】認知症カフェ ・南部民協【内容】情報交換、勉強会（海老名南包括と合同） ・さつき町体操教室（医療センター）【内容】体操
<p>国分寺台 地域包括支援センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大谷地区社協役員会、幹事会へ出席【情報交換】 ・大谷地区役員会セミナー出席 【エンディングノートの書き方・詐欺被害報告】 ・国分寺台地域福祉協議会運営会出席【情報交換・包括紹介】 ・浜田町地区社協幹事会への出席【情報交換】 ・樽井まちづくりの出席【情報交換・包括紹介】 ・SCとの情報交換

海老名南 地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・えびな南貯筋体操（杉久保コミセン）第3火曜日 ・社家今里ストレッチサークル（社家コミセン） 第1・3木曜日 ・門沢橋ストレッチサークル（門沢橋自治会館） 第1・3火曜日 ・サンパルクストレッチサークル 第1・3水曜日 ・南カフェ（コロナ禍のため1回のみ） ・南部地区社協 杉久保ランチへの参加
----------------------------	--

※例年地域包括支援センターが開催若しくは参加していた事業の中でも、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から開催・参加できなかった事業があります。

4 研修・講座等

○認知症初期集中支援チーム員研修（国主催）

2回参加（基幹包括及びさつき町包括）

○認知症サポーター養成講座

11回開催し全回、各地域包括支援センター及び基幹型地域包括支援センターが講師となる。

○介護者教室 6回開催

管理栄養士、理学療法士、明治乳業社員、特養職員、白十字株式会社社員等を講師に招き開催した。

※認知症初期集中支援チーム員フォローアップ研修は令和3年度中は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となっています

5 地域包括支援センター運営上の課題

市と6か所の地域包括支援センター及び基幹型地域包括支援センターは原則月1回定例の連絡会を開催しています。連絡会では高齢者支援のために必要な情報の共有や意見交換、地域包括支援センター運営上の課題等について話し合いを行い、市と包括支援センター間で現場の意見を共有できるような試みを行っています。

その他、地域包括支援センターの運営事業を受託する法人等との会議や打ち合わせを行うことで、現場だけではなく、運営の視点からの意見も共有できるような試みも行っています。

現在、連絡会や運営法人との会議等により地域包括支援センター運営上の課題として検討を重ねている事項は以下のとおりです。

○ケアプラン作成業務の負担について（継続）

地域包括支援センターでは要支援者等のケアプラン作成の業務を行っています。地域包括支援センターの現場ではケアプラン作成業務の負担感が増しており、対応策について検討を行っております。

現在対応策として検討しているのは①居宅介護支援事業所への委託推進②地域包括支援センター職員数の見直し等となります。

令和3年度中には①居宅介護支援事業所への委託推進のため、居宅介護支援事業所がプラン作成を受託し易い環境を整備するため、委託マニュアル作成に向け調整を開始しました。

○地域包括支援センター職員体制について

地域包括支援センターの人員体制は3職種4名を基本として配置をすることとしています。しかしながら、複雑な総合相談や虐待事案に対しては、複数のセンター職員が連携して対応したり、一人のセンター職員で対応できる事案であったとしても付きっきりの支援で多くの時間がかかる場合があります。

市では基幹型地域包括支援センターや市職員（ケースワーカー）による後方支援等によりセンター職員の負担軽減を図ってはいますが、現場や運営的な視点から人員不足が課題として上がっております。

上記のケアプラン作成業務に関することで触れましたが、現在地域包括支援センター職員数の見直し等の対応については継続的な検討を行っています。

また、地域包括支援センターの業務については他の事業（生活支援体制整備事業等）と重なる部分もあることから、各業務の取り組み方法から包括支援センターの業務軽減を図るよう検討を行っています。

6 地域包括支援センター事業評価

市内6か所の地域包括支援センターについては厚生労働省通知「地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について（通知）」を参考に事業評価を実施しています。

概要については別添【資料2-②】のとおりです。

各地域包括支援センターにあっては新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか創意工夫しながら事業を実施したことが読み取れます。

また基幹型地域包括支援センターにあっては事業評価について点数上の評価だけにならないよう、事業評価の方法について工夫を行いました。

7 地域包括支援センター運営方針

令和4年度の地域包括支援センター運営方針については別添【資料2-③】のとおりとなります。

令和4年度の地域包括支援センター運営方針の策定については、上記令和3年度の事業評価の結果や介護保険運営協議会の結果等重点事項として反映しています。

① 生活支援体制整備事業との連携

生活支援体制整備事業を行う生活支援コーディネーターとの連携の強化を図る。

② 介護支援専門員に対する支援・指導について

介護支援専門員への支援の強化を図る。

③ 地域包括支援センターの広報について

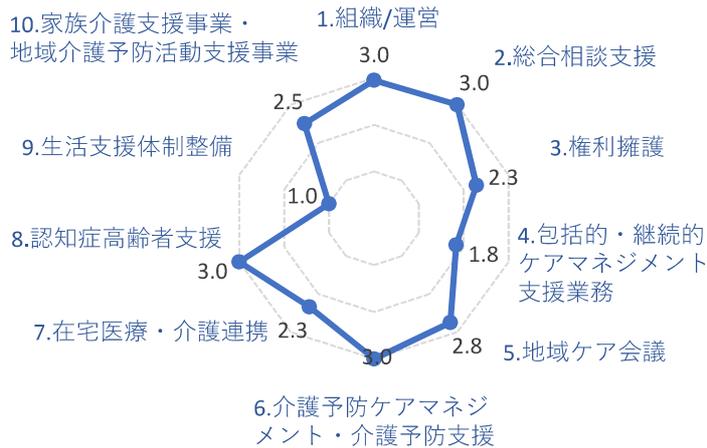
地域包括支援センターの広報強化を図る。

特に③地域包括支援センターの広報については現在、各地域包括支援センターごとにチラシを作成し広報を行っていますが、より広く周知できるように取り組みを行います。【資料2-④】

3. 事業評価の結果

(1) 全体評価結果

実施状況評価
 評点 2.4



昨年に引き続きコロナの影響により地域の事業が延期や中止になるなど計画通りに事業を進めることができない中、地域とつながり続けるため地域ケア会議の開催や関係機関との連携を重視しさまざまな手法で地域への浸透の努力を継続的に行った。特に地域ケア会議については試行錯誤しながらの実施となったが、引き続き把握した担当圏域の現状やニーズに基づいた重点項目に取り組み、地域づくりに一層取り組んでいただきたい。

今回の評価にて包括的・継続的ケアマネジメント支援業務については多くの地域包括支援センターにおいて評価点が伸び悩んだ。日頃からケアマネが相談しやすい環境を整えニーズを把握し、研修会を開催する等ケアマネジメント業務の向上に期待する。

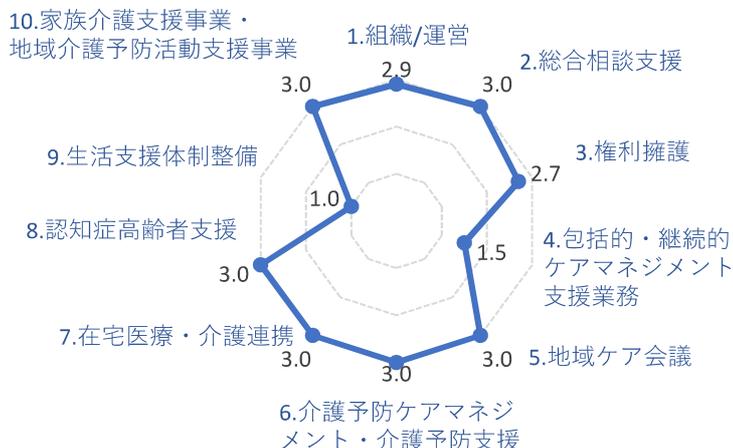
また、上記課題の他、市、基幹型地域包括支援センター、各地域包括支援センターとの共有事項項目についても再度確認し、認識の違いがないよう努めていきたい。



(2) 海老名東地域包括支援センター

実施状況評価

評点 2.6



講評

事業計画は重点項目や長期・短期目標が一目でわかるようまとめられており、取り組み内容が具体的でわかりやすいものであった。認知症施策を事業計画の重点項目にあげ、認知症カフェを年3回計画実施し、オレンジパートナーの活動増加に繋げた。また、介護者教室でも昨年のアンケート結果よりニーズの高かった福祉用具の活用について開催し、地域特性や住民ニーズを上手く把握し反映させるなど積極的に地域づくりに取り組むことができた。

今年力を入れた取り組み：新規居宅介護支援事業所への支援

① 目指す姿・困っていたこと

【困っていたこと】

海老名市内の居宅介護支援事業所は、飽和傾向が続いており、なかなか新規受け入れができない。要介護の担当だけで飽和気味なので、要支援の委託を依頼するのは困難。

【目指す姿】

介護保険サービスを使いたい方に、速やかに居宅介護支援事業所を案内したい。

② 取り組み内容・工夫したこと

・大和市に新規事業所「さちケアマネステーション」開設したため、ケース依頼し、海老名市の要介護・要支援委託を対応いただけるように、説明しました。要支援の委託の説明には一連の流れを記した書面（画像参照）を使用しました。当包括エリアのサービス事業所の情報も提供し、支援しました。

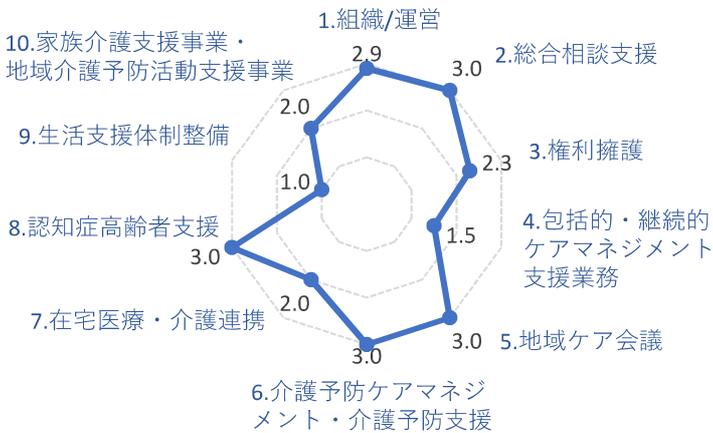
③ 効果（見込み）

- ・東柏ヶ谷の方を複数名ご担当いただいています。
- ・要介護+要支援のご夫婦は委託で担当いただいています。
- ・居宅介護支援事業所を探す際の選択肢が増えました。

(3) 海老名北地域包括支援センター

実施状況評価

評点 2.4



講評

事業所内では職員間の共有が図られど
の職員でも対応できるような体制がと
られていた。地域ケア会議については
個別ケースのみでなく地域課題につい
て検討する会議も定期的で開催されて
いる。また、認知症サポーター養成講
座ではリコーと共催しオンラインにて
講座を開催。その後もリコーで行われ
ている介護者座談会に出席する等企業
と良い関係が築け今後の認知症予防や
介護予防、介護者支援についても協力
しより良い支援の実施に繋がることが
期待される。

今年力を入れた取り組み：オンライン開催

①目指す姿・困っていたこと

【困っていたこと】

- ・新型コロナウイルス感染症により、サロン等の交流の場が閉鎖され、自主的に外出を控えていた方も多く、認知機能や身体機能の低下を感じている方が多い。
- ・「認知症カフェ」が開催できず、情報交換や相談の機会が減っている。

【目指す姿】

認知症カフェのオンライン開催を目標とした

③効果（見込み）

- オンライン開催の実現には至らなかったが、次年度の目標へと繋がった。
- ・アンケート結果から、高齢者のIT環境は、オンライン開催に対応できるものと認識。
 - ・オンライン開催に対する「よくわからない」を解消する為のサポート体制を整えた上で、介護予防等の情報発信から行っていく。
 - ・RICOHとは継続した関りを持ち、介護離職の問題にも取り組んでいく。

②取り組み内容・工夫したこと

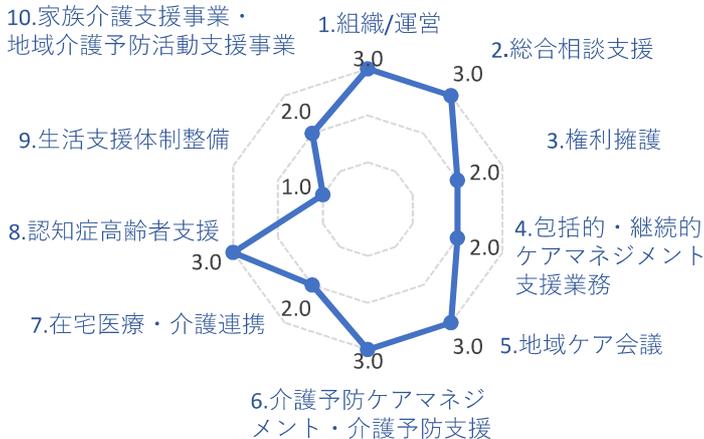
- ・RICOH海老名より、認知症サポーター養成講座の依頼があり、オンライン開催。
- ・RICOHの職員より、介護全般について継続的な関りを希望され、座談会をオンライン開催。働く世代が抱えている介護の課題を把握できた。
- ・「認知症カフェ」のオンライン開催についてRICOHに相談。RICOHの開発アプリの提案やIT環境についての助言を頂く。
- ・地域の高齢者がオンラインに対応できるかのアンケート調査を実施。



(4) 海老名中央地域包括支援センター

実施状況評価

評点 2.4



講評

三職種で情報共有し支援の方向性を話し合う等昨年に引き続きチームアプローチが図られ安定した運営が行われた。昨年認定されなかった地域ケア会議についてはSCと協働しランチの機能を活用し積極的に取り組むことができた。中でも担当地区に多いマンション居住者の地域の課題発見や地域づくり等住民に働きかける姿勢がみられ今後の活動に期待する。また、フレイル事業についても独自の資料を作成し幅広い関係機関と連携し実施するなど発展的な地域支援活動に取り組んだ。

今年力を入れた取り組み：コロナに負けない笑顔あふれる地域づくり

① 目指す姿・困っていたこと

【目指す姿】
コロナに負けない笑顔溢れる地域

【困っていたこと】
コロナにより外出の機会が減り、人とのかわりが減っている
→フレイルに陥る可能性

③ 効果（見込み）

- ・ハガキを見て喜んでいただき、孤独感が和らぐ効果を期待。お礼の電話が多く入る。国分寺北1丁目の配布が多かった。
- ・包括職員がフレイルサポーターになり、国分コミセンでフレイルチェックを実施。赤シールの多かった方を丸ごと「介護予防教室」へ案内しフレイル予防。
- ・ロバ隊長を作成。超特大は地ケ課へ贈呈。編み方を教えて欲しいと問い合わせがあり編み図を配布

② 取り組み内容・工夫したこと

- ・アクエリアス配布時にメッセージを書いたはがきをつけよう！



- ・フレイルサポーターになってフレイル予防を広げていこう

フレイルで赤シールの多い方を介護予防に繋げよう！



まるごと参加者20名 水中ウォーキング2名

利用者の声

- 「お友達ができて楽しい！」
- 「スタッフの方が親切でありがたい。楽しい！」
- 「また参加したい。次の申し込みをしたい！」

- ・認知症予防啓発のため手編みのロバ隊長を作ってみよう！



今年力を入れた取り組み：コロナに負けない笑顔あふれる地域づくり

①困っていたこと

コロナ感染の可能性があるため、地域での集まりが減っている事



②取り組み内容・工夫したこと

- ・ ブランチの話し合いは「地域ケア会議」の意味合いと同じ！
- ・ 生活支援コーディネーターに書記を依頼



③効果（見込み）

国分Aブランチ

- ・ 徘徊女性とゴミ捨てできない男性について
- ・ 自治会の加入について

国分Bブランチ

- ・ 孤立が心配される男性の情報共有と見守りについて
- ・ マップのアップデート・8050問題
- ・ おしゃべりサロン3回開催

国分Cブランチ

- ・ いざという時の「近所」作りの方策を考える
- ・ 災害時の高齢者等の避難について

国分Eブランチ

- ・ 個別のケースを通して地域を支える方法を考えた

中央ブランチ

- ・ 干支づくり・クリスマス会を開催

勝瀬ブランチ

- ・ 手作りこいのぼりオブジェ・寄せ植え・お雛様等をサロン参加者に配り様子を伺った

- ・ コロナ禍でも各ブランチで地域の情報交換ができた
- ・ 地域の見守り体制を整えるため、どのような工夫が必要かを地域住民同時で話し合うことができた
- ・ 国分Cブランチの地域の課題（買い物・自治会脱退者の増加・以前より近所の付き合いが希薄など）が見えてきた
- ・ 勝瀬ブランチはサロン中止が続く中、ブランチメンバーが配布物をもって訪問して安否確認。顔を合わせることで**笑顔**になれた。



(5) さつき町地域包括支援センター

実施状況評価

評点 2.8



講評

事業所内の連携や情報共有は日頃から密に行っており、主担当はいても誰もがケース支援を担え、また、三職種の特性を活かす支援に繋がっている。更に支援困難ケースや虐待疑いケースについては、基幹包括や行政、民生委員や地域住民等と連携を図り、地域ケア会議を開催する等個別課題に積極的に取り組んだ。昨年度に引き続き要介護状態にならないための介護予防事業の強化や多職種連携を事業計画にあげていたが、コロナの影響により難しく今後の取り組みに期待する。

今年力を入れた取り組み：地域や関係機関とのつながり

①目指す姿

- ・コロナ禍における「介護予防事業」のアプローチを工夫する
- ・分野を問わず多職種で連携できるチーム作り
- ・介護者同士が交流できる場所を考える

③効果（見込み）

- ・コロナ禍においても意識して体を動かして、交流を図っている様子がみられた
- ・お互いのことを知り、顔なじみの関係になり、今後の連携がスムーズに行える
- ・普段交流のない男性介護者同士の交流が図れた
- 今後は「パーキンソン病介護者の会」など病気に特化した介護者の交流が図れる集まりを作る等広げてゆきたい

②取り組み内容・工夫したこと

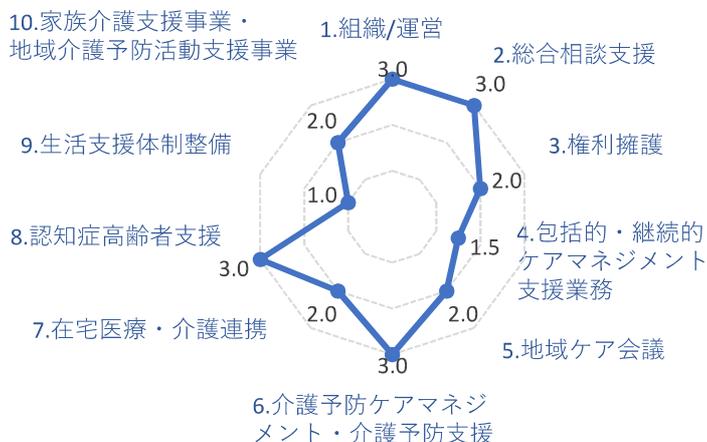
- ・閉じこもりの生活でフレイルにならないように、電話や訪問で声をかけた。
- ・体操教室の場所を変更して、少人数で2部制にして開催した。
- ・高齢福祉以外の領域が参加する会議を開催した（地域ケア会議等で）
- ・マンション管理事務所の方・警察・生活支援課・障害担当者等。
- ・介護者教室で「男の介護者教室」を開催し男性介護者同士の交流の機会を作った。



(6) 国分寺台地域包括支援センター

実施状況評価

評点 2.3



講評

管理者が交代となり新たなメンバーでのスタートとなった。他の包括に比べて虐待相談件数が多く経験のある職員が対応するも苦慮したが、今年度の実績や地域へのアンテナ力を生かし今後も丁寧な支援を期待する。また、コロナ禍により計画した地域事業が中止になるなど思うように事業を勧めることができなかったが、講座開催等地域への取り組みに意欲的でありSCと協働し来年度への活動に期待する。

今年力を入れた取り組み：好評だった介護者教室の開催

①困っていたこと

- ・コロナ禍で地域の方の居場所がなく、孤立していること
- ・閉じこもりにより、筋力・体力が低下される方が多くなっていること

③効果（見込み）

- ・運動不足の解消
- ・自宅でもできる手軽な体操の取得だったと参加者より多く聞かれた
- ・センターの活動や役割の周知ができた
- ・コロナ禍で少人数で行ったことによりひとりひとりに目が行き届き、距離感なく行えた

②取り組み内容・工夫したこと

日時：R3年10月15日（金）
14：00～15：30

目的：転倒しない体力づくり
体脂肪を燃焼させるポイントを学ぶ

内容：1, 健康雑学
2, ストレッチ
3, 筋トレ
4, 脳トレ、有酸素運動

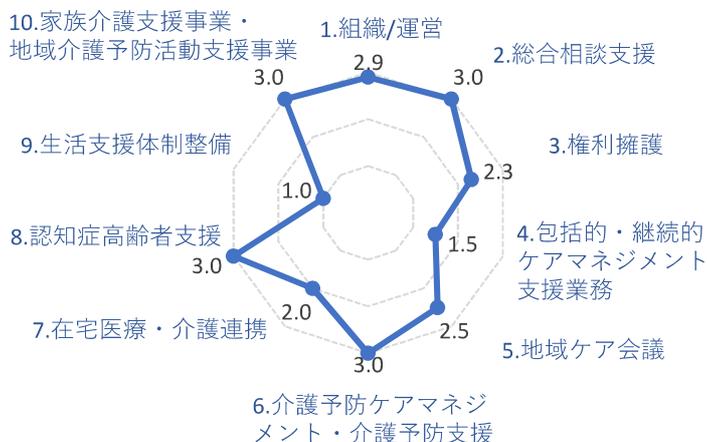
工夫：・海老名広報に掲載し周知
・体操に関心のある方をはじめ、閉じこもりの方への声掛けを行った
・教室を開催するにあたり、興味・関心が持てるタイトルを考えた
・明るく、楽しく参加できるように雑学と有酸素運動、音楽に合わせた動きを取り入れた



(7) 海老名南地域包括支援センター

実施状況評価

評点 2.4



講評

昨年度コロナの影響により開催できなかった地域ケア会議については、個別・地域課題共に関係機関へ働きかけ調整し実施することができた。常に地域課題を意識し課題解決のためのアプローチを心がけ取り組む姿がみられた。また、支援困難、虐待疑いケースについては昨年度より件数が多く基幹型包括や行政と連携して取り組みきめ細やかな支援が行われたが、事業所内での情報共有に課題もみられた。来年度は個別支援の他ケアマネ支援について今まで以上の指導を期待する。

今年力を入れた取り組み：地域特性と課題の明確化

① 目指す姿

担当地区の特性や地区課題を明確にする

② 取り組み内容・工夫したこと

- ・ 全国の地域ケア会議の実践事例をもとに課題のカテゴリーを整理した
- ・ 相談支援をしているもののうち、介護保険制度や既存の制度ですぐに解決できない部分を上記の課題のカテゴリーや地区別に整理してデータどりを行った
- ・ 12月に一度データを取りまとめ分析を行った

〈明確化した地区の特性・地域課題〉

1. 全体的に認知症に関する相談が多い
認知症により①他者への介入を拒むため介護保険サービスや医療の導入が困難 ②地域の見守りや理解が必要 ③家族にケアの必要性が発生している
2. 通院や買い物に必要な公共交通機関の不足
データの総数が少ないため、どの地区や理由などを再度確認していく必要がある
3. ネットワークづくりの必要性
特に障害福祉関係のネットワークと地域とのつながりづくりの必要性が高かった

③ 効果（見込み）

南地区としての課題を整理し、今後の地域ケア会議の地区課題として住民と共有していく事とした



海老名市地域包括支援センター 運営方針

海老名市
令和 4 年度版

1 運営方針

「海老名市地域包括支援センター運営方針」は、地域包括支援センターの運営上の基本的な考え方や理念、業務推進の方針等を明確にするとともに、地域包括支援センター業務の円滑で効率的、効果的に実施することを目的に策定する。

2 地域包括支援センターの設置及び体制

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、市民の生活区域に合わせて6ヶ所に地域包括支援センターを設置し、各地域において事業を実施する。

地域包括支援センターの統括・総合調整・後方支援等を行う海老名市基幹型地域包括支援センターにより、センター間の連携体制及び支援体制の強化を図る。

地域包括支援センターは、地域の実情に応じた重点課題や重点目標を設定し、各地域で特色ある創意工夫した事業運営を行うこと。

3 地域包括支援センターで行う事業の実施方針

(1) 地域包括ケアシステムの構築方針

高齢者が安心してできる限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、「自助・互助・共助・公助」を組み合わせ、医療・介護・福祉等に関わる幅広い関係機関と地域が連携し、地域ごとの医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される体制の構築を進める。

障がいのある家族など複合的な課題を抱えた人についても十分な支援を行うことができるよう、関係部局との連携を図り、地域共生社会の実現を目指す。

地域包括支援センターは、行政機能の一部として地域の最前線に立ち、担当する地域の特性や実情を踏まえ、地域包括ケアシステムにおける中核機関として、海老名市及び関係機関、団体等とともに、その体制の推進に向けて取り組む。

地域包括ケアシステムの推進を図るとともに、地域で支え合う仕組みづくり、要介護状態にならないための介護予防を重視した事業を推進していくことで、共に支え合い、生きがいを持って安心できる生活を実現するため、高齢者支援事業の充実と介護保険制度の円滑な運営を推進する。

(2) 区域ごとのニーズに応じて重点的に行うべき業務の方針

地域ケア会議や日常的な地域活動、地域ネットワーク等を通じて、担当地域における潜在ニーズも含めた住民ニーズ、地域課題等の把握に努める。

市及び基幹型地域包括支援センターと情報共有及び協議を行い、その地域で重点的に取り組んでいくべき事項を明確にし、地域における重点課題を設定するなど、柔軟な事業運営に努める。

(3) 介護事業者、医療機関、民生委員、ボランティア等の関係者とのネットワーク（地域社会との連携および専門職との連携）構築の方針

介護サービスに限らず、地域の保健・福祉・医療サービスやボランティア活動、インフォーマルサービスなどの様々な社会資源の連携を図り効果的に利用できるよう、専門的な多職種と地域団体等の様々な取組を連携させ、地域の高齢者支援のネットワーク構築を推進する。

(4) 介護予防に係るケアマネジメント（第1号介護予防支援事業等）の実施方針

介護予防及び要支援状態等からの自立の促進を目的とし、高齢者自身が持つ能力を最大限に生かして、状態にあった具体的な目標を設定する。

高齢者自身が理解し、達成するために必要なサービスを主体的に利用し、自分自身で目標の達成に取り組んでいけるようにプランを策定する。

高齢者や家族の要望だけでなく、自立支援に資するよう、課題の見立てと適切なアセスメントを実施し、ケアプランの作成にあたっては、介護予防・日常生活支援総合事業に限らず、インフォーマルサービスや住民主体の通いの場等、社会資源の活用も積極的に検討し、「心身機能」、「活動」、「参加」にバランスよくアプローチし、高齢者が地域の中で生きがいや役割を持ちながら目標を達成できるように努める。

(5) 介護支援専門員に対する支援・指導の実施方針

介護支援専門員に対する相談対応体制の構築や地域ケア会議の開催等を通じて、介護支援専門員が抱える支援困難事例に対して、関係機関と連携のもと指導、助言等を行う。

海老名市ケアプラン点検事業に協力し、介護支援専門員のケアマネジメントの質の向上を図り、また日常的個別指導・相談を行う。

(6) 地域ケア会議

介護支援専門員からの相談による困難事例等や総合相談業務等から抽出された個別ケース検討等の地域ケア会議を開催し、介護等が必要な高齢者の住み慣れた住まいでの生活を地域全体で支援することを目的に開催する。

個別ケースの課題分析等を積み重ねることで、地域に共通する課題を抽出することを認識し、取組みを進めていく。

地域で解決可能な課題なのか、政策的な課題なのかを明らかにし、政策形成に必要な課題については、市域の地域ケア会議につないで検討を行い、地域づくり・資源開発、政策形成へ結びつけていく。

《地域ケア会議の機能》

- ① 個別課題の解決
- ② 地域包括支援ネットワークの構築
- ③ 地域課題の把握、
- ④ 地域づくり・資源開発
- ⑤ 政策の形成

(7) 行政との連携方針

地域住民からの相談、困難事例等について、市及び基幹型地域包括支援センター、地域包括支援センター間で調整等を行い、連携を図りながら支援にあたるものとする。

市と基幹型地域包括支援センター、地域包括支援センターにおける連携強化及び情報共有を図るため、「海老名市地域包括支援センター連絡会」を毎月開催する。

(8) 公立・中立性確保のための方針

地域包括支援センターは、高齢者福祉行政の一翼を担う「公的な機関」として、利用者の特性や意欲・意向を踏まえ、居宅介護支援事業所及び居宅介護サービス事業所等の紹介を行うものとする。

正当な理由なしに特定の介護事業所に偏らないよう、公立・中立性確保に努める。

運営費用が介護保険料や自治体の公費が投入されて運営されていることを認識し、適切な事業運営を行う。

(9) 事業評価の実施

地域包括支援センターの運営や活動について、評価指標に基づいた上で事業評価を実施し、現状の課題等を明らかにし、それに基づいた必要な機能強化に努める。

具体的な方法等を含めて、市と基幹型地域包括支援センター、地域包括支援センター間で協議し、必要な対策を講じられるように取り組みを進める。

4 重点的な取り組み事項について ※一部再掲あり

地域包括支援センターの運営を行う中で表出した課題、事業評価を行う過程で表出した課題等について重点的取り組み事項として以下のとおり方針を示す。

(1) 生活支援体制整備事業に係る方針

多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの体制整備と充実を図るため市及び社会福祉協議会等関係機関と協働して推進する。

特に生活支援コーディネーター・協議体との連携を密にすること。

(2) 介護支援専門員に対する支援・指導について（再掲）

新型コロナウイルス感染症のまん延に留意しつつ、地域の介護支援専門員の日常的な業務の実施に際し専門的見地からからの個別指導、相談への対応を行う。

また、必要に応じて関係機関等と連携し事例検討会や研修を実施し、制度や施策に関する情報提供を行うこと。

(3) 地域包括支援センターの広報について

高齢者の相談先等としての地域包括支援センターの存在については地域に浸透してきているが、より一層の浸透を目指し、広報等を積極的に行うこと。

海老名中央

ほうかつ

地域 包括 支援センター

海老名市の

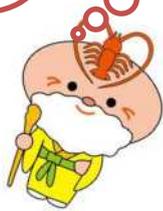
高齢者の為の何でも相談窓口です!!

介護保険って
なんだっけ?

足腰が弱って
今後は心配。

海老名には
どんなサービスが
あるのかな?

物忘れが
気になる。。



【担当地区】 勝瀬、中央、
国分南、国分北

【利用時間】 月曜～金曜
8:30～17:00

【電話】 046-234-2973

【住所】 海老名市河原口1519



伊東・瀧川・岩澤・藤澤

メディカルサポート
クリニック1階

海老名駅

海老名
総合病院

海老名
メディカルプラザ

海老名
市役所

気軽に相談してにゃ～

☎046-234-2973



海老名北地域包括支援センター

R3.7

介護保険



介護保険て何？

どうすればいいの？

市の福祉サービス



どんなサービスがある？

地域のサロンが知りたい

高齢者虐待



怒鳴り声が聞こえる…

ちゃんと介護されてるの？

高齢者の
お金の管理



身寄りがいない場合
どうすればいいの？

管理して欲しいな…

病気・生活
の困りごと



認知症について知りたい

退院した後の生活が不安

海老名市
から委託
されて
ます

こんなときはお気軽にご相談ください

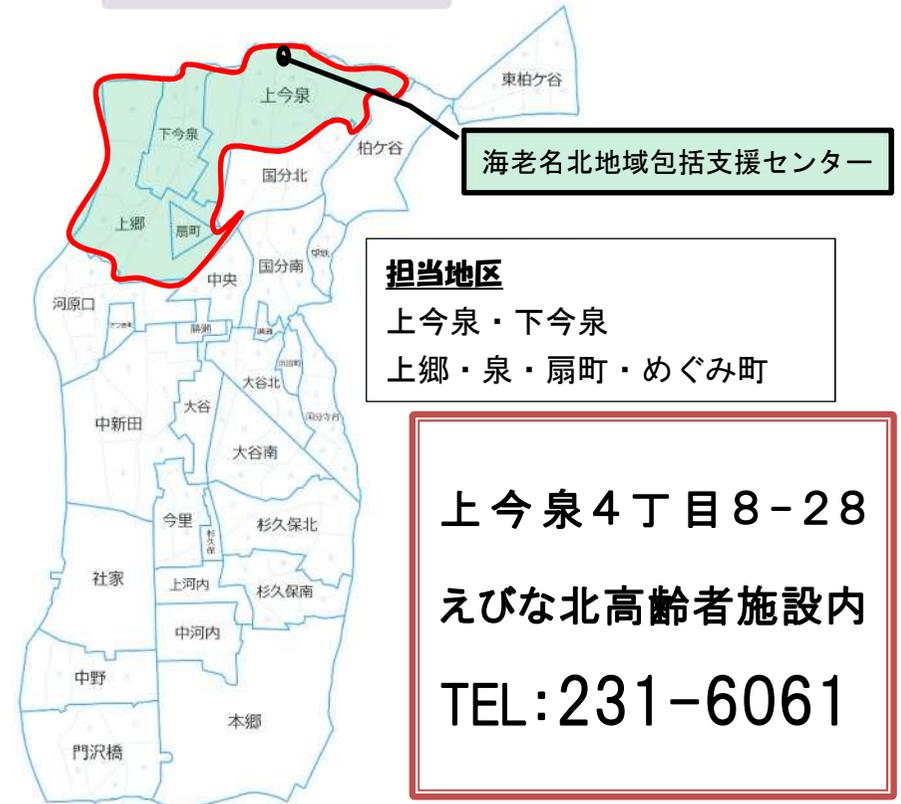
相談は
もちろん
無料です



社会福祉士
瀧平

保健師
内田

ケアマネ
國弘



さつき町地域包括支援センター

担当地区：さつき町・河原口・中新田・社家

① 自立して生活できるように支援します
介護保険の申請
要支援者の支援等

② 皆さんの権利を守ります。
高齢者の虐待等の相談
お金の管理・契約等
成年後見制度の利用



大谷

羽坂

秋谷

羽太

③ 健康・福祉・医療についてご相談ください。
近所の一人暮らしの方
認知症の方が心配など

④ 暮らしやすい地域の為のお手伝いを致します。
地域ネットワーク作り
ケアマネとの連携など

海老名市から委託を受け、地域の高齢者・そのご家族の方等からのご相談を伺っています。
お気軽にご相談ください！

体操教室：医療センター3階 毎月第1、3水曜日
10:30～11:30

連絡先・お問い合わせ先(さつき町41番地)
医療センター2階：234-7226

海老名南地域包括支援センター

「地域包括支援センターって何？」

海老名市地域包括ケア推進課から業務委託を受け、
 地域の高齢者、そのご家族の方のご相談を伺っています。
 海老名市には6箇所とそれをまとめる1つのセンターがあります。
 私たちの担当地域は・・・
 杉久保北・南、上河内、中河内
 今里、本郷、中野、門沢橋 です。



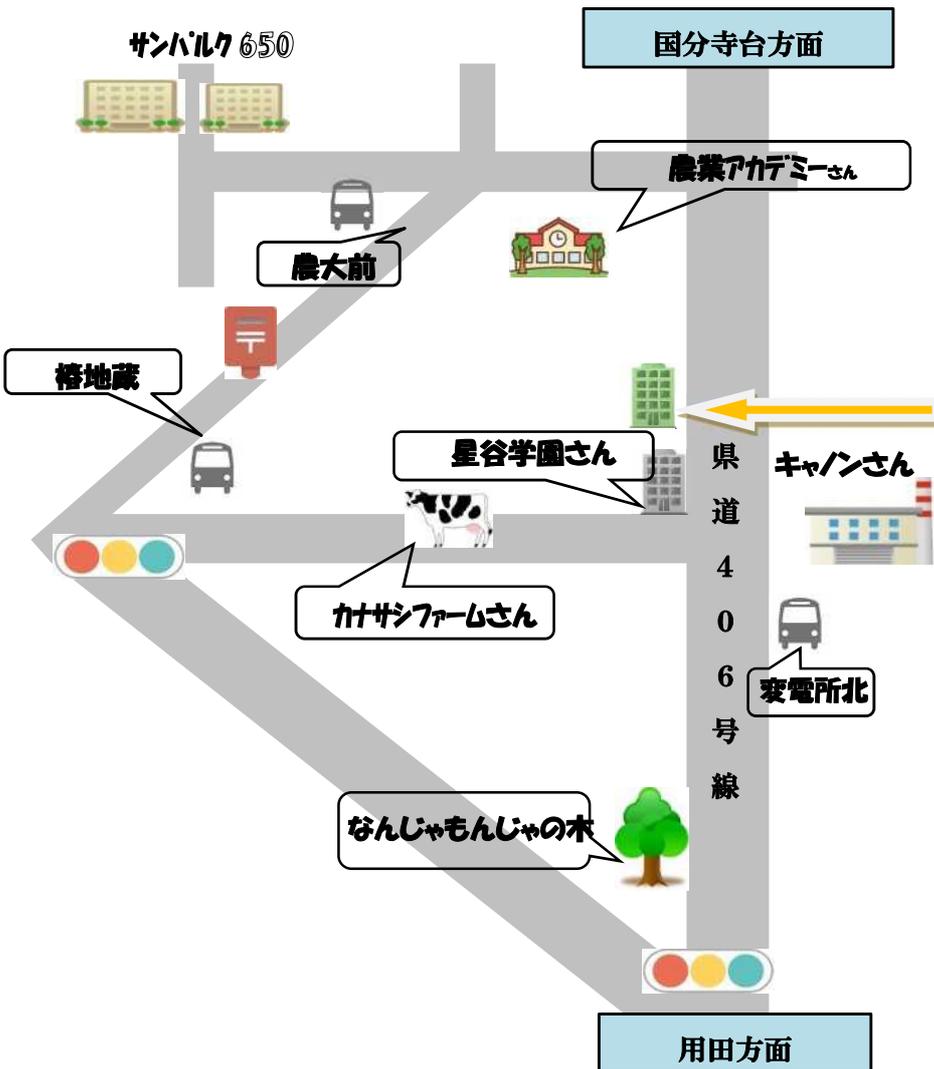
「どんなことをしているの？」

介護予防・介護保険に関するお手伝い

入所する施設や物忘れの心配など、

暮らしやすい地域づくりのお手伝い

権利を守るお手伝い



海老名南地域包括 支援センター

連絡先:

046(238)7691

まずはお気軽にご連絡ください！

住所: 杉久保南 3-31-6

えびな南高齢者施設 1階

★敷地内に駐車場がございます。

私たちが 担当です

主任ケアマネジャー
三浦 尚宏



主任ケアマネジャー
半澤 真由美



保健師
鈴木 尚子



社会福祉士
見渡 忠浩



ケアマネジャー
加藤 よし子



みんながいつまでも元気であるために——

◆貯筋体操

毎月 第3 火曜日 第1部 13:15~14:00 第2部 14:15~15:00
杉久保コミュニティセンターにて 参加費無料

◆杉久保ストレッチサークル

毎月 第1・3 水曜日 9:30~10:15 サンパルク管理棟集会室にて 参加費500円

◆社家・今里ストレッチサークル (さつき町地域包括支援センターとの共同運営)

毎月 第1・3 木曜日 10:00~11:00 社家コミュニティセンターにて 参加費500円

◆門沢橋ストレッチサークル

毎月 第1・3 火曜日 10:00~11:00 門沢橋自治会館にて 参加費500円

◆えびな南カフェ

休止中

◆今里サロン

休止中

そのほか、スカイハイツのスカイサロン、サンパルクのふれあいカフェ、上河内の茶話会やふれあいランチ会、各地区の老人会・長寿会などにも伺い、地域の方からの相談受付、認知症予防や介護保険についての講話、地域包括支援センターをより多くの方に知っていただく活動をおこなっております。



高齢者のみなさんを
支える拠点です

介護のこと
健康のこと

困ったときの相談窓口

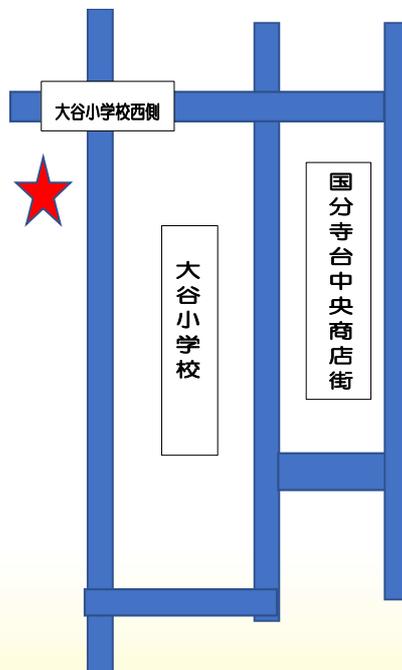


わたしたちにご相談ください



国分寺台地域包括支援センター

担当地区：大谷・大谷南・大谷北・国分寺台・浜田町
主任ケアマネジャー・保健師・社会福祉士などの専門職が
介護・医療・保健・福祉などの総合相談をうけつけます！



相談時間：午前8:30～午後5時（平日）

住所：〒243-0412
海老名市浜田町25-14
フジビル1階

046-233-8881

海老名市の委託を受けた高齢者の総合相談窓口です。

えび なひがし ちいき ほうかつ しえん せんたー

海老名東 地域包括支援センター



- ・介護保険について教えてほしい
- ・介護に疲れた。どうしてよいかわからない。
- ・海老名市の福祉サービスについて教えてほしい
- ・足腰が弱って、今後が心配。。。。
- ・物忘れが気になる。。。などなど。

担当地区：**東柏ヶ谷、柏ヶ谷、望地**

営業日：**月～金**

休日：**土日祝日、年末年始**

営業時間：**8:30～17:00**

相談の秘密は厳守します。
何でもお気軽に
ご相談くださいね！



ローゼン
駐車場

小林

鈴木
(は)

佐々木

横山

鈴木
(優)

美容室
クープ



ぼむ

さがみ野駅北口
徒歩3分。
マンションの
1階です！



住所：**海老名市東柏ヶ谷3-5-1ウェルストーン相模野102**

電話：046-292-1411

FAX:046-292-1412

(※不在の事もあります。まずは、お電話にてお問い合わせください。)

海老名市基幹型 地域包括支援センター



市内6包括支援 センターの統括

市内6ヶ所ある地域包括支援センターの取りまとめを行います。



情報の集約・発信

医療・介護・生活資源総合検索システムを使い、情報の集約と発信を行います。



市内6包括支援セン ターの後方支援

地区包括支援センターだけでは対応が難しいケースを一緒に対応します。



海老名市社会福祉協議会が運営しています。

認知症普及啓発

認知症の方を見守るための認知症サポーター養成講座や市民向けの講演会を開催します。



医療・介護・地域の つなぎ役

医療・介護・地域と連携を図り、地域包括ケアシステムの構築を目指します。



会議の開催

包括間の連携を図るための連絡会や地域課題解決に向けての地域ケア推進会議の開催。



海老名市基幹型地域包括支援センター

☎046-233-0111 FAX 046-235-0191

第8期介護保険事業計画の進捗状況

1 介護保険事業 サービス量の見込みと実績の比較

【実績は介護保険事業状況報告（4月～3月審査分の12か月）】

□ 居宅サービス

① 訪問介護

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
訪問介護 【P70】	回数（回／年）	127,029	118,997	93.7%
	人数（人／年）	7,536	9,271	123.0%
	給付費（千円／年）	607,033	595,491	98.1%

※介護予防訪問介護は、総合事業へ移行

【進捗状況】 ほぼ計画どおりサービスを提供することができた。

②（介護予防）訪問入浴介護

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
訪問入浴介護 【P71】	回数（回／年）	4,961	5,146	103.7%
	人数（人／年）	1,116	962	86.2%
	給付費（千円／年）	88,501	66,205	74.8%
介護予防訪問入浴介護 【P71】	回数（回／年）	72	52	72.2%
	人数（人／年）	24	13	54.2%
	給付費（千円／年）	759	454	59.8%

【進捗状況】 介護予防訪問入浴介護は、想定より利用者が少なかった。

③（介護予防）訪問看護

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
訪問看護 【P72】	回数（回／年）	37,456	42,633	113.8%
	人数（人／年）	5,580	7,346	131.6%
	給付費（千円／年）	260,245	309,958	119.1%
介護予防訪問看護 【P72】	回数（回／年）	6,256	6,200	99.1%
	人数（人／年）	1,368	1,383	101.1%
	給付費（千円／年）	45,919	36,854	80.3%

【進捗状況】 医療ニーズの増加を見込んだが、訪問看護では想定を上回るニーズがあった。

④（介護予防）訪問リハビリテーション

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
訪問リハビリテーション 【P73】	回数（回／年）	22,069	10,783	48.9%
	人数（人／年）	2,173	2,129	98.0%
	給付費（千円／年）	65,747	66,072	100.5%
介護予防訪問リハビリテーション 【P73】	回数（回／年）	3,991	2,302	57.7%
	人数（人／年）	410	535	130.5%
	給付費（千円／年）	11,887	14,088	118.5%

【進捗状況】 利用者数は、ほぼ計画どおりであったが、回数は想定を下回る結果であった。

⑤ 通所介護

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
通所介護 【P75】	回数（回／年）	98,582	86,704	88.0%
	人数（人／年）	8,712	9,808	112.6%
	給付費（千円／年）	700,491	660,581	94.3%

※介護予防通所介護は、総合事業へ移行

【進捗状況】リハビリや入浴介護の代替サービスとしての利用が多く、ほぼ計画どおりサービスを提供することができた。

⑥（介護予防）通所リハビリテーション

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
通所リハビリテー ション 【P76】	回数（回／年）	37,393	35,650	95.3%
	人数（人／年）	4,260	4,851	113.9%
	給付費（千円／年）	272,051	290,645	106.8%
介護予防通所リハビリ 【P76】	人数（人／年）	1,559	918	58.9%
	給付費（千円／年）	45,746	33,213	72.6%

【進捗状況】介護予防通所リハビリについては、想定より利用者が少なかった。

⑦（介護予防）居宅療養管理指導

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
居宅療養管理指導 【P74】	人数（人／年）	20,678	22,423	108.4%
	給付費（千円／年）	141,317	166,870	118.1%
介護予防居宅療養管理 指導 【P74】	人数（人／年）	2,204	1,635	74.2%
	給付費（千円／年）	15,962	11,500	72.0%

【進捗状況】居宅訪問にて療養上の指導を受けられることから、利用者が増加しているが、介護予防については、想定より少なかった。

⑧（介護予防）短期入所生活介護

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
短期入所生活介護 【P77】	日数（日／年）	30,181	34,723	115.0%
	人数（人／年）	2,448	3,031	123.8%
	給付費（千円／年）	250,958	312,996	124.7%
介護予防短期入所生 活介護 【P77】	日数（日／年）	1,035	598	57.8%
	人数（人／年）	96	106	110.4%
	給付費（千円／年）	5,354	3,906	73.0%

【進捗状況】ニーズが高く、想定を上回る結果となったが、介護予防は想定より日数が少な

⑨ (介護予防)短期入所療養介護

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
短期入所療養介護 【P78】	日数 (日/年)	1,499	2,168	144.6%
	人数 (人/年)	228	312	136.8%
	給付費 (千円/年)	20,474	23,600	115.3%
介護予防短期入所療養介護【P78】	日数 (日/年)	62	25	40.3%
	人数 (人/年)	24	6	25.0%
	給付費 (千円/年)	818	236	28.9%

【進捗状況】短期入所療養介護はニーズが高いが、介護予防は想定より利用者が少なかった。

⑩ (介護予防)福祉用具貸与

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
福祉用具貸与 【P80】	人数 (人/年)	16,589	18,907	114.0%
	給付費 (千円/年)	241,703	260,110	107.6%
介護予防福祉用具貸与 【P80】	人数 (人/年)	5,641	5,355	94.9%
	給付費 (千円/年)	34,447	31,082	90.2%

【進捗状況】ほぼ計画どおりサービスを提供することができた。

⑪ (介護予防)特定施設入居者生活介護

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
特定施設入居者生活介護【P79】	人数 (人/年)	3,660	3,467	94.7%
	給付費 (千円/年)	690,521	677,360	98.1%
介護予防特定施設入居者生活介護【P79】	人数 (人/年)	629	477	75.8%
	給付費 (千円/年)	45,174	40,946	90.6%

【進捗状況】ほぼ計画どおりサービスを提供することができた。

⑫ (介護予防)住宅改修

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
住宅改修 【P82】	人数 (人/年)	341	255	74.8%
	給付費 (千円/年)	31,878	21,328	66.9%
介護予防住宅改修 【P82】	人数 (人/年)	262	129	49.2%
	給付費 (千円/年)	20,574	12,417	60.4%

【進捗状況】サービス利用者が想定よりも少なかったと考える。

⑬ (介護予防)特定福祉用具販売

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
福祉用具購入費【P81】	人数(人/年)	343	332	96.8%
	給付費(千円/年)	11,859	8,814	74.3%
介護予防福祉用具購入費【P81】	人数(人/年)	101	87	86.1%
	給付費(千円/年)	4,152	2,239	53.9%

【進捗状況】要支援者の新規認定者が想定よりも少なかったと考える。

⑭ 居宅介護支援・介護予防支援

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
居宅介護支援【P83】	人数(人/月)	24,607	26,827	109.0%
	給付費(千円/年)	349,035	390,917	112.0%
介護予防支援【P83】	人数(人/月)	7,276	7,217	99.2%
	給付費(千円/年)	35,080	35,040	99.9%

【進捗状況】ほぼ計画どおりサービスを提供することができた。

□地域密着型サービスの供給見込量

① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
定期巡回・随時対応型訪問介護看護【P87】	人数(人/年)	12	12	100.0%
	給付費(千円/年)	2,114	1,039	49.1%

【進捗状況】第8期においては施設整備の計画はないが、利用状況から潜在的なニーズがあると言える。

② (介護予防)認知症対応型通所介護

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
認知症対応型通所介護【P85】	回数(回/年)	2,573	1,976	76.8%
	人数(人/年)	264	195	73.9%
	給付費(千円/年)	33,110	23,277	70.3%

【進捗状況】通所介護(定員19人以上)を利用しているため、想定を下回ったと考える。

③ (介護予防)小規模多機能型居宅介護

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
小規模多機能型居宅介護【P84】	人数(人/年)	492	426	86.6%
	給付費(千円/年)	85,081	72,768	85.5%
介護予防小規模多機能型居宅介護【P84】	人数(人/年)	12	30	250.0%
	給付費(千円/年)	891	1,816	203.8%

【進捗状況】介護予防については、想定を上回るニーズがあった。

④ (介護予防)認知症対応型共同生活介護

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
認知症対応型共同生活介護【P86】	人数(人/月)	1,572	1,446	92.0%
	給付費(千円/年)	428,272	381,472	89.1%
介護予防認知症対応型共同生活介護【P86】	人数(人/月)	12	15	125.0%
	給付費(千円/年)	3,518	1,584	45.0%

【進捗状況】 ほぼ計画どおりサービスを提供することができた。

⑤ 地域密着型通所介護

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
地域密着型通所介護【P89】	回数(回/年)	36,187	33,654	93.0%
	人数(人/年)	3,996	4,246	106.3%
	給付費(千円/年)	276,719	246,132	88.9%

【進捗状況】 ほぼ計画どおりサービスを提供することができた。

□施設サービスの供給見込量

① 介護老人福祉施設

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
介護老人福祉施設【P90】	人数(人/年)	※6,720	6,081	90.5%
	給付費(千円/年)	1,899,735	1,576,126	83.0%

※計画人数560人に12月を乗じた人数。

【進捗状況】 ほぼ計画どおりサービスを提供することができた。

② 介護老人保健施設

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
介護老人保健施設【P91】	人数(人/年)	※2,004	2,020	100.8%
	給付費(千円/年)	575,326	569,527	99.0%

※計画人数167人に12月を乗じた人数。

【進捗状況】 ほぼ計画どおりサービスを提供することができた。

③ 介護医療院

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
介護医療院【P93】	人数(人/年)	※24	52	216.7%
	給付費(千円/年)	9,676	17,382	179.6%

※計画人数2人に12月を乗じた人数。

【進捗状況】 第8期においては施設整備の計画はないが、想定より他市町村の施設利用が多かった。

④ 介護療養型医療施設

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
介護療養型医療施設【P92】	人数(人/年)	※108	52	48.1%
	給付費(千円/年)	38,692	16,912	43.7%

※計画人数9人に12月を乗じた人数。

【進捗状況】 医療色の強い施設になるが、老健など他施設を利用したため、計画値を下回ったと思われる。

2 地域支援事業 サービス量の見込みと実績の比較

(1) 総合事業

① 介護予防・生活支援サービス事業（通所型サービス事業）

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
従前の通所介護相当サービス事業（旧介護予防デイサービス）【P46】	利用延人数（人）	5,370	4,849	90.3%
通所介護予防事業（通所型サービスC事業）【P47】	実施回数（回）	77	70	90.9%
	利用延人数（人）	917	847	92.4%

【進捗状況】概ね計画通りの進捗です。

② 介護予防・生活支援サービス事業（訪問型サービス事業）

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
従前の訪問介護相当サービス事業（旧介護予防ホームヘルプサービス）【P43】	利用延人数（人）	2,490	2,375	95.4%
訪問型サービスA事業【P44】	利用人数（人）	15	6	40.0%
ふれあい訪問（訪問型サービスB事業）【P45】	利用人数（人）	90	76	84.4%
訪問介護予防事業（訪問型サービスC事業）【P45】	利用人数（人）	90	0	0.0%

【進捗状況】コロナ禍の影響もある中で概ね計画通りに進めることができました。

③ 一般介護予防事業

		令和3年度		進捗率
		計画	実績	
こころとカラダの健康教室（認知症予防）【P50】	回数（回）	356	358	100.6%
	利用延人数（人）	4,795	1,807	37.7%
脳いきいき教室（認知症予防）【P50】	回数（回）	36	27	75.0%
	利用延人数（人）	913	433	47.4%
ピナスボ活用術（運動機能向上）【P50】	回数（回）	57	36	63.2%
	利用延人数（人）	921	366	39.7%
トランスフィットネス教室（運動機能向上）【P50】	回数（回）	24	18	75.0%
	利用延人数（人）	289	187	64.7%
えびな元気お裾分けクラブ【P52】	登録者（人）	200	135	67.5%

【進捗状況】項目ごとに差があるものの、概ね計画通りに進めることができました。

(2) 包括的支援事業

① 在宅医療・介護の連携体制の推進

	令和3年度		進捗率
	計画	実績	
在宅医療介護連絡協議会【P53】	3	2	66.7%
多職種研修会【P54】	2	4	200.0%

【進捗状況】概ね計画通りに進めることができました。

② 認知症初期集中チームの運営・活用

	令和3年度		進捗率
	計画	実績	
利用人数(人)【P55】	10	9	90.0%

【進捗状況】概ね計画通りに進めることができました。

③ 生活支援体制整備

	令和3年度		進捗率
	計画	実績	
協議体開催【P59】	13	※109	838.5%

※第1層協議体(市全体)は、2回開催。第2層協議体(各地域)は、107回開催。

【進捗状況】令和3年度より各地域の取組状況を把握するため、地域における小規模の会議もカウントすることにしており、計画を大幅に上回る結果となっています。

(3) 任意事業

	令和3年度		進捗率	
	計画	実績		
認知症サポーター養成講座【P57】	回数(回)	28	11	39.3%
	延数(人)	630	320	50.8%
家族介護者教室【P62】	回数(回)	6	5	83.3%
	実数(人)	180	104	57.8%

【進捗状況】コロナ禍の影響もある中で、概ね計画通りに進めることができました。

高齢者保健福祉計画策定等委員会への委員推薦について（事前周知）

日頃より海老名市の介護保険・高齢者福祉行政への多大なるご支援及びご協力を賜り、厚く御礼申し上げます

高齢者保健福祉計画策定等委員会への委員推薦について次のとおり事前周知させていただきます

1 概要

海老名市では介護保険法に基づく「介護保険事業計画」及び老人福祉法に基づく「老人福祉計画」を一体化した計画である『えびな高齢者プラン 21』を平成12年度から3年毎に策定しています。

現在は第8期（令和3年度から令和5年度まで）の計画期間中となりますが、次期の計画である第9期（令和6年度から令和8年度まで）の策定に向け準備を開始しているところです。

2 お願い事項

計画の策定に際して、令和4年度中に高齢者保健福祉計画策定等委員会を組織し計画の検討・策定作業を開始する予定です。

つきましては、貴協議会委員の中から上記策定等委員会委員をご推薦頂きたいと考えております。

正式には別途ご依頼させていただきますが、まずは事前周知ということでご承知おき頂きたく、お願いいたします。

3 参考

(1) 委嘱予定期間

令和4年11月頃から令和6年3月末まで

(2) 推薦依頼予定人数

1名※前回は大濱委員をご推薦頂きました。

第1回海老名市介護保険運営協議会 書面会議に係るご意見

①	地域包括支援センターの活動状況や事業評価の結果は、とても分かりやすかった。
②	第8期介護保険事業計画の進捗状況では、前向きなコメントを期待します。
③	書面会議の審議日数は、回答に余裕をもてるようにして欲しい。
④	「市内の総事業所数を示し、介護を必要とする人が増加していることを鑑み、市としては事業所がさらに増加することが望ましい」のような説明があると全体的な傾向が理解しやすい。
⑤	「北地域包括支援センター」のチラシがとても良い。誰が何の資格で支援しているかを明示したことは良い。他の包括では、この点が不明で疑問に思っていた。
⑥	地域包括支援センター相談件数は、3年程度実績を掲載して欲しい。
⑦	基幹型包括支援センターの活動内容を掲載して欲しい。
⑧	運営協議会のオンライン開催の検討
⑨	海老名市地域包括支援センター運営方針では、何を指すかが不明瞭、図を用いるなどの見える化が必要。
⑩	基幹型地域包括支援センターのチラシに所在地がない。市民からの相談を受けないということか？
⑪	認定調査の遅れについて、市の調査員を減らし、外部委託を増やした経緯を他の委員にも知って欲しい。
⑫	困難な事例は貧困や家族状況など複雑な状況で生じ、短時間で解決することは難しいと考えます。居宅介護支援事業者が困難事例への対応を包括支援センターに任せた場合、センターの負担が重くなるため、事前に協議しておくことが大切だと思います。 (既に検討されていると思いますが・・・。)

第1回海老名市介護保険運営協議会 書面会議に係るご質問

①	各地域包括支援センターの活動状況のS Cとは？
②	事業評価における基幹型包括支援センターの評価がない理由は？
③	事業評価の「生活支援体制整備」が1.0の理由は？どのような内容ですか？
④	海老名市地域包括支援センター運営方針の文言で「公立」ではなく「公正」では？
⑤	「災害・感染症への対応」で事業所に対して協力、支援をして欲しい。
⑥	地域包括支援センターの活動報告及び「第8期介護保険事業計画の進捗状況」について、何か特徴的なことがあるか知りたい。
⑦	地域包括支援センターの職員欠員状況？とその場合の委託料は減額するのか？
⑧	地域包括支援センターの職員体制の見直しの検討状況は？
⑨	生活支援体制整備事業に対する事業評価と事業計画の進捗率の乖離理由は？
⑩	認知症サポーターの割合が全国、県と比較すると半分以下である理由は？
⑪	地域包括支援センター事業評価「生活支援体制整備」1.0の要因について、ご教示願います。
⑫	高齢者プラン21の生活支援コーディネーター、就労的活動支援コーディネーターの設置、活動状況について、ご報告をお願いします。
⑬	ターミナルの方で、要介護認定になることを前提に、暫定ケアプランを作成し、先行して福祉用具、訪問看護師の手配等奔走して行ったにもかかわらず、1～2カ月後に結果支援だったケースが多々ある。（包括の場合も同様） また、先行してサービスを使ったが、認定調査ができずに亡くなり全額自費のケースの方もいる。このため、がんのターミナルの方については、認定調査を急いでほしい。
⑭	今年度になってから、認定調査の遅れが目立っています。現状や対策などについて見解を伺う。